

## 1 現状と課題

### 〔現 状〕

- マツダ（株）防府工場及び同社と関連する企業が立地・集積し、北部九州・広島地域を合わせた生産台数は240万台と、国内の一大生産基地を形成
- 自動車産業は、いわゆる「CASE<sup>\*</sup>」による技術革新により、100年に一度の変革期にある状況
- 平成31年(2019年)2月、産学公金連携組織「山口県自動車産業イノベーション推進会議<sup>\*</sup>」を設置し、企業間連携の仕組みづくりや、企業の競争力・開発力強化に向けた研究開発・事業化への支援等を実施
- 令和3年(2021年)1月、「2035年までに新車販売で電動車100%を実現する」との政府方針を公表

### 〔課題と方向性〕

- 自動車産業の急速な構造変化や電動化等への対応に向け、本県の強みである自動車関連産業や基礎素材型産業の集積を活かしつつ、関連技術を有する企業間の連携・マッチングを強化し、県内企業の新規参入を促進するとともに、オープンイノベーション<sup>\*</sup>による新技術・新製品の創出に向けた取組を加速的に推進していくことが必要
- 少子高齢化の進展等による労働力人口の減少に対応するためには、自動車生産現場の高度化や生産性向上を図ることが必要
- オープンイノベーションの更なる深化を図るためには、県域を越えた技術交流体制の構築や自動車関連産業の人材確保支援が必要

## 2 プロジェクトの概要

### 産学公金連携組織の運営

- オープンイノベーション<sup>\*</sup>の推進プラットフォームとなる産学公金連携組織「山口県自動車産業イノベーション推進会議<sup>\*</sup>」の運営

### 自動車関連企業のイノベーション<sup>\*</sup>創出支援

- 関連技術を有する企業間の連携・マッチングの強化等による研究開発・事業化の促進
  - ・ セミナー、自動車メーカーと連携したニーズ発信会、展示商談会等の開催
  - ・ やまぐちR&Dラボ<sup>\*</sup>との連携
  - ・ 自動車専門コーディネータによる自動車メーカーや系列メーカーとのマッチング等の支援・人材育成
  - ・ 国・県の補助金等による支援
- DX<sup>\*</sup>の推進による自動車生産現場の高度化・生産性向上
- 北部九州地域等との連携による広域ネットワークの構築
- 大学生等への啓発活動による自動車関連産業の人材確保支援

## 山口県自動車産業イノベーション推進会議による支援

### ◆研究開発・事業化の促進

- ・ニーズ発信会、展示商談会等
- ・やまぐちR&Dラボとの連携
- ・コーディネータによるマッチング等の支援・人材育成
- ・国・県の補助金等による支援

### ◆北部九州地域との連携による広域ネットワークの構築

- ・九州二輪車・自動車生産振興会議への加入
- ・県域を越えた技術交流体制の構築

## 産学公金連携による オープンイノベーション<sup>※</sup> の推進

### ◆DX<sup>※</sup>の推進による自動車生産現場の高度化・生産性向上






- ・セミナー、ワークショップ等
- ・コーディネータによる支援
- ・国・県の補助金等による支援

### ◆大学生等への啓発活動による自動車関連産業の人材確保支援

- ・セミナーや座談会等による大学生等への自動車関連産業の魅力発信

- ・自動車産業への新規参入
- ・自動車産業の構造変化や電動化等に対応した新技術・新製品の創出
- ・販路拡大、受注獲得等による県内企業の事業展開の拡大 等

## 3 工程表

取組	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
産学公金連携組織の運営	<山口県自動車産業イノベーション推進会議 <sup>※</sup> の運営> 		
自動車関連企業のイノベーション <sup>※</sup> 創出支援	<関連技術を有する企業間の連携・マッチングの強化等による研究開発・事業化の促進> ・セミナー、自動車メーカーと連携したニーズ発信会、展示商談会等の開催 ・やまぐちR&Dラボ <sup>※</sup> との連携 ・自動車専門コーディネータによる自動車メーカーや系列メーカーとのマッチング等の支援・人材育成 ・国・県の補助金等による支援 		
	<DX <sup>※</sup> の推進による自動車生産現場の高度化・生産性向上> ・セミナー、ワークショップの開催、コーディネータによる支援等 		
	<北部九州地域等との連携による広域ネットワークの構築> ・県域を越えた技術交流体制の構築 		
	<大学生等への啓発活動による自動車関連産業の人材確保支援> ・大学生等への自動車関連産業の魅力発信 		

## 4 取組目標(指標)

指標名	現状値		令和5年度(2023年度)目標値
	数値	基準年/年度	
研究開発等プロジェクト化件数	1件	令和元年度(2019年度)	6件/3年